

にじのこ めーる



季刊誌 VOL. 73
2015年9月
特定非営利活動法人にじのこ
理事長 松平 みえ
〒157-0062 東京都世田谷区南鳥山 6-3-9
ミールズスキ 603
Tel:03-5314-2488 Fax:03-5314-2544
URL : http://nijinoko.jp
e-mail : mail@nijinoko.jp

INDEX

巻頭言

「ゴーヤの
実りの後に」
理事長 松平 みえ

にじのこ 暑い夏

「幼児グループ・
夏の遊び」
山崎 朋子

「遊びが繋がる
夏休み」
須藤 恵子

「灼熱の暑さの夏休み
～お楽しみプログラム」
小野 亮

「夏休みを終えて」
馬場 豪(母)

にじのこ サポーターズ

「新米だけど、
新米じゃない…」
安樂 洋輝

- にじのこの動き
- THANKS

にじのこでは、成人には音楽療法と
でもきつかけを作ってもらえるかも。
付ではないので多分無理でしょうね。
るとよいのだが・・・。卒後は介護給
個別支援は成人になっても継続され
ス(介護給付)で行われる運動教室や
にできています。放課後等デイサービ
供している場合は限られてくる。あちこ
ただし、学校を卒業すると余暇を提
校時代から探しておくことが大切で
活に張りを与えているようである。そ
のためにも土・日に出来る楽しみを学
校時代から探しておくことが大切で
ある。

猛暑の夏はいつまで続くのかと、職
場の一番奥で冷気の届かない場所に
いる私は汗をかきながら、団扇をあお
ぎつつ、仕事をしてきた。急に涼しく
なり、ほっとしている。我が家の老犬
もゴーヤの日陰が功を奏したのかこ
の夏を乗り切りまもなく16歳を迎え
る。老犬は網戸に開けた場所を探り当
て、部屋の中に入り出すことを覚えて
しまった。目も臭いも舌の動きも、悪くなり、
ウロウロし、時々、部屋で粗相をして
しまうのだが。また、新たな経験を受
け入れることが出来ると感心してし
まった。

にじのこのデイの子供たちも元氣
に新学期を迎えた。夏休みを有意義に
過ごすことができたようである。単身
赴任をしている父の赴任地に行っ
たり、両親の実家の祖父母に会いに行っ
たり、旅行をしたり、朝から開所して
いるデイサービスで過ごしたりと貴
重な経験をしたようである。本誌にも

経験したことを写真に撮り、発表して
もらったが、自分を表現する方法を得
ることの大切さを成人された方々に
出会うと感ずる。
自分なりの表現、絵であれ、ダンス
であれ、スポーツであれ、音楽であれ
書であれ、字や計算であれ、塗り絵で
あれ、自分の好きなこと、趣味・余暇
を持つていることが、励みになり、生
活に張りを与えているようである。そ
のためにも土・日に出来る楽しみを学
校時代から探しておくことが大切で
ある。

ダンスのプログラムを提供している
が、希望はあっても多くの方々をお引
き受けできない。補助金もなく、ご本
人に利用料負担をして頂くことによ
って関わる人の人件費を生み出して
いるからだ。
さらににじのこは車での送迎を行
っていない。今後も多分するつもりは
ない。車での送迎は特別支援学校や支
援級に通学するお子さんにとって、一
人で移動をすることができず、仕事を
する保護者の方も増え、学校と放課後
デイサービスを繋ぐには欠かせないツ
ールではあると十分承知している。

しかし、車での送迎は事故や渋滞や
車検の処理や維持費、運転手等のシフ
ト等で今のにじのこには大きな重荷
である。それよりも小学生の時から1
対1で行うヘルパーさんと学校から
デイサービスや自宅への移動支援を
行うことで子供たちを成長させる。途
中で座り込んだ子供達も人に合わせ
て歩くことを覚えたり、交通ルールや
人との関わりを学ぶ機会にもなる。こ
の姿勢は崩せないと私は考える。夏の
実りの後にさらに子供たちが新たな
ことに挑戦し、大きくなり、有意義に
生きて行けるように支援をしていき
たい。

(松平)

「新米だけど、新米じゃない…」

あんらく ひろき
安樂 洋輝

PROFILE
5年前ヘルパー登録したのは25歳でした。20代だった安樂さんは今は30代。長く勤めてくれることを願い、様々な場面で先輩たちがアドバイスを。ようやくヘルパーの仕事にも自信をもてるようになったかな…。今年から非常勤職員としてヘルパーだけではなく、事務的な仕事にも携わり、本来のまじめさで仕事に取り組んでいます。誠実で穏やかな反面、もう少し自分をだしてもいいのではと思う時もあります。男性ヘルパーが少ない中、若手のヘルパーとして大活躍の日々です。

ヘルパーとしてにじのこに登録し、障がいを持った人達と接することとなり、先輩ヘルパーの方々の対応の仕方を見させていただくも、自分にできるのかどうかという不安と緊張でいっぱい状態で支援に入っていました。そんな状態から間もなく5年経とうとしています。その間、対応が分からずに子供を泣かせてしまうことや怒らせてしまうこともありました。保護者の方々や職員の方達にご迷惑をかけることもありました。無事に終わっても、「本当にあの対応で良かったのか?」「こうすることもできたんじゃないか?」と思いを悩むこともありました。

現在は先輩ヘルパーや職員、保護者の方々の対応を参考にしつつ、自分と過ごして笑顔でいられるよう、また、できることが増やせるようにと悩み考えながら接しています。上手くいかないこともあります。笑顔でいてくれる子供達も増え、「安心して任せられる」というありがたいお言葉を保護者の方から頂くこともあり、非常に嬉しく思いました。今年度から非常勤職員として新たにスタートを切ることとなりました。まだまだご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、これからは頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

にじのこの動き

- 7月
- 1(水) 光明特別支援学校学校公開
キャリアパス中堅職員研修参加
 - 2(木) 合同職員会議
 - 3(金) 光明懇談会
 - 4(土) トレフル
 - 7(火) デイ職員会議
 - 8(水) 鳥山地域精神障害
生活支援連絡協議会
 - 9(木) 事業等検討会
 - 10(金) 赤堤避難訓練
 - 11(土) 給田避難訓練 デイ赤堤音楽療法
 - 14(火) キャリアパス中堅職員研修
テラス児童デイ訪問
 - 15(水) キャリアパス中堅職員研修
鳥山区民センター自衛消防訓練参加
 - 16(木) 管理監督者会議
 - 17(金) 世田谷区自立支援協議会
デイ給田お話し会
 - 21(火) デイ給田・赤堤夏休みプログラム開始
 - 23(木) 居宅ネット世話人会
 - 25(土) 青光学園夏まつり出店
 - 27(月) 鳥山エリア自立支援協議会運営会議
発達協会研修
 - 28(火) 部門間相互研修 発達協会研修参加
キャリアパス中堅職員研修参加
 - 29(水) 部門間相互研修 発達協会研修参加
キャリアパス中堅職員研修参加
桐朋学園学生ボラ受け入れ
 - 30(木) 鳥山福祉作業所施設公開
赤堤避難訓練 発達協会研修参加
 - 31(金) デイ給田消防設備点検



- 8月
- 1(土) GR避難訓練
 - 3(月) 赤堤避難訓練
 - 4(火) NPO法人ハーモニー来所
 - 5(水) 「魅力ある」事業所をつくるための
助成金活用セミナー参加
デイ職員会議
 - 6(木) 事業等検討会
 - 7(金) 雇用管理改善啓発セミナー参加
 - 8(土) デイ赤堤音楽療法
 - 11(火) デイ赤堤ダンス教室
 - 18(火) 指定特定相談支援事業所鳥山会議
夏ボラ受け入れ
 - 19(水) 北沢社協職員来所 支援者会議
雇用管理責任者講習参加
 - 20(木) デイ給田バン教室 夏ボラ受け入れ
 - 21(金) 総福技術支援 夏ボラ受け入れ
 - 22(土) デイ赤堤避難訓練 デイ給田ダンス教室
 - 25(火) 世田谷区社協地域意見交換会
労務管理講習会参加
 - 26(水) 青光学園視覚部門教育支援講演会
 - 27(木) 総合福祉センター職員来所
デイ赤堤バン教室
 - 29(土) 職員採用面接会
 - 31(月) デイ給田・デイ赤堤
夏休みプログラム終了

- 9月
- 2(水) ケア会議
相談支援ファンリテーター研修参加
 - 3(木) 合同会議 事業等検討会
デイ給田避難訓練
 - 7(月) にじのこ研修会「救命講習」開催
区相談支援従事者初任者研修参加
 - 8(火) デイ職員会議
 - 9(水) デイ赤堤避難訓練
 - 11(金) 藤井まな世田谷区議 幼児G来所
 - 16(水) 消火訓練 居宅ネット研修会参加
貸金支払いの基本と応用参加
雇用管理の基本参加
 - 17(木) 管理監督者・主任会議
労働時間の範囲・計算方法参加
 - 18(金) デイ給田お話し会
 - 19(土) トレフル
 - 24(木) 保坂区長 幼児G来所
 - 26(土) 発達障害者新研修参加
デイ赤堤音楽療法
 - 27(日) 個別支援計画作成について研修参加
 - 28(月) 部門間相互研修
 - 29(火) デイ赤堤避難訓練
 - 30(水) 鳥山エリア自立支援協議会研修会



にじのこ秋のバザー
11/6(金)7(土)
ご協力お願いします!

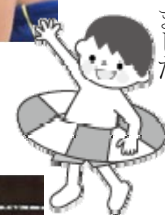
- THANKS
- 賛助会員 高橋浩平様 多賀慎一郎様
植松とみ枝様
 - ご寄付 小林友美様
伊藤忠記念財団(電子書籍)
 - ボランティア 荒川様 お話し泉様
谷口様 目黒様 渡邊様

にじのこの暑い夏



今年の夏も暑かったですね。連日猛暑日が続く、早く涼しくならないかしら・・・と思っていたら急に気温が下がり、慌てて長袖のシャツを引っ張り出して着たり、また蒸し暑くなったり・・・季節の変わり目は、服装の調節や体調管理が難しいですね。

さて、幼児グループは新しい施設での初めての夏を迎えました。今回は、幼児グループの夏の遊びをご紹介します。子ども達はテラス遊びが大好きです。開閉式の屋根があるので直射日光が遮られ、心地良い風が通ります。木材の床を素足で歩くと、足の裏にほど良い刺激があつても気持ちが良いのです。又、前日の雨で出来た水溜りに入るとピチャピチャとした感触を感じる事も出来ます。活動では、ゼリ遊びや水遊びもテラスで行い、手で触れるだけではなく足、顔、口(?)でも触れたり、床を滑らせるなど遊びの幅が広がりました。



テラスでの一番の楽しみは、やはり水遊びです。登園時にプールの準備がしてあるのを見ると、今すぐ水に飛び込みたい気持ちを一生懸命我慢するお友だち。水深10センチ位のプールに大の字で仰向けになって満足そうなお友だち。牛乳パックの容器で水を汲み、入れ替えたりプールの外に出したりしてじっくりと遊ぶお友だち。水遊びは好きなのですが、顔に水がかかると「イヤ〜!」と全身でアピールするお友だち。3個のプールを元氣いっぱい渡り歩き、身体をいっぱい動かして遊ぶお友だち。職員の持つじょうろから流れる水を頭から浴び、滝修行のように全身で水を感じているお友だち。プールには入らず、少し離れた所から皆の様子をニコニコ笑顔で見ているお友だち。水着には着替えず、テラスの入口に小さなバケツを置き集中して遊ぶお友だち。水遊びと言っても様々な遊び方があり、表情や反応も皆違います。その一人一人を見つめ、この夏に心も身体もひとまわり大きく成長した子ども達の思いにずっと寄り添って行きたいと思えます。最後になりましたが、保護者の皆さま、暑い中ご協力を頂きまして有難うございました。これからも、どうぞ宜しくお願い致します。

「幼児グループ・夏の遊び」

幼児グループにじのこ 山崎 朋子

「夏休みを終えて」

馬場 豪(母)



長かった夏休みがようやく終わり、2学期が始まりました。今年もにじのこさんに助けをいただきたながら無事に夏休みを過ごせたこと、感謝申し上げます。

今年の夏は、週2回の通常の利用日に夏プログラムをプラスして、午後からのデイの前ヘルパーさんをお願いして、外出デイというパターンで3回の外出をしました。

今年の夏は、週2回の通常の利用日に夏プログラムをプラスして、午後からのデイの前ヘルパーさんをお願いして、外出デイというパターンで3回の外出をしました。スクジュールがはっきりの決まっていた安心できる自閉症の息子にとっては、毎週決まった曜日時間に通所できるデイの存在はありがたく、ヘルパーさんとの外出も含むことで、家族だけでは時間もエネルギーも持たずじまってしまう長期休暇に、とても楽しい時間を作ることができたと思っています。



今年の夏は、週2回の通常の利用日に夏プログラムをプラスして、午後からのデイの前ヘルパーさんをお願いして、外出デイというパターンで3回の外出をしました。

今年の夏は、「江戸東京博物館」と「池袋サンシャイン水族館」「国立科学博物館」に行きました。豪君はデジカメで写真を撮り、チェックしている姿はカメラマンです。前向きで切り替えが早いです。見習うべき事が沢山あった、夏の思い出、豪君ありがとう。

今年の夏も猛暑の中、豪君は足取り軽く八幡山の駅にやってきました。「豪君おはよう」の声掛けに、大きな声で元気に挨拶。一瞬で暑さを忘れ、これからの出かけが楽しみになりました。移動中も、駅員さんやお店の人に自らお礼を言える姿に感心しました。電車での移動中は私の携帯と一緒に、豪君が事前に調べてくれたラーメン屋さんのメニューを見たり、お店を決めたり、時間配分や行く順番を決めたりと、楽しい時間でした。



馬場豪さん、夏のおでかけの様子
ヘルパーステーションにじのこ
篠原 絢子